平成 29 年度　第９回幹事会議事録　要約

開催日時：平成 30 年 1 月 20 日(土)　15 時 10 分～18 時 35 分
開催場所：梅田サテライトキャンパス
成立要件：出席者 21 名（委任状 5 名)、欠席者 0 名（※定足数 14 名以上）

１．報告事項
（１）総務部
・特になし
（２）運営事業部
・本日（1/20）15 時から運営事業部会を開催した。卒業式記念品発注済みの件、韓国支部名簿の件について検討した。韓国支部については、事前に参加者名簿等を提出していただき参加者の確認をして運営して行く。
・宮崎県支部について、重黒木代議員から連絡があり、1 月 30 日に役員会を開催して、支部活動を継続していく旨を支部会員に説明する。
・和歌山県支部の再稼働について事務局から問い合わせする。
（３）広報事業部
・特になし。
（４）事務局
・特になし。
（５）支部総会について
・鳥取県支部は平成 30 年度に韓国支部と合同開催を予定している。助成の依頼があったが、規程にないのでお断りした。
（６）特別委員会進捗状況について
・明日（1/21）第 9 回特別委員会を開催する。
（７）その他
・会長より、1 月 14 日に平成 30 年第 11 回近畿圏支部賀詞交歓会に出席した。次回は北大阪支部の主催で行われる。
・総務部長より、笑福亭松蕎さんの襲名講演＆祝賀会について、繁盛亭の席を 50 席予約しているが、賀詞交歓会で 50 席では足らないのではとの意見があった。早急に各支部に参加者を問合せしたい。参加申し込みの締め切りは 1 月末を予定している。
・船曳幹事より、卒業生の谷口氏が企画した講演会についての説明があった。

２．協議事項
（１）平成 30 年幹事会スケジュールについて
総務部長より、資料に基づき、幹事会スケジュールの説明があった。
協議の結果、梅田サテライトが使用できない日（4 月 14 日、10 月 13 日）は大学で開催することになった。また、幹事会の開催回数を減らす検討資料として、審議すべき事項をまとめ、次回の幹事会で協議することになった。
（２）平成 30 年度事業計画と予算編成の方針について
会計長より、資料に基づき次の説明があった。
協議の結果、校友会費の分割徴収方法により全体的に収入が確実に 8%減ることを前提に、2018 年度は前年度比で 3.79%削減して予算組することが承認された。

（３）校友会会員名簿ソフト改修費について

会計長より、静岡県支部から会員名簿を修正したのに変更されていないとの指摘があった。会員名簿修正については、校友会事務室で行っているデーターベース更新と関西廣済堂が行っているデーターベースとの更新がうまくいっていない。

また、データーベースを更新した履歴が残っていないため、修正点だけ抽出しようとすれば、手作業でしか手立てがないため、事務室でも履歴の抽出ができるようにソフトを改良したいとの提案があった。

協議の結果、校友会員のデータ更新履歴の抽出ができるようにソフトを改良することが了承された。今年度の予算に余裕があれば年度内に執行する。

（４）校友会ホームページ支部紹介（北大阪支部の掲載順について）

総務部長より、新支部の北大阪支部については一番後尾に加えて、吹田支部を削除する。掲載の順位番号は詰めていく、40 番目に北大阪支部としたいとの提案があり、了承された。

３．審議事項

（１）対応員会設置について

会長より、間もなく特別委員会からの報告が提出されるが、その後は処遇委員会（仮称）を設置して今後の対応を検討したい。5 月の代議員会で報告したいので、時間的に考えても今回設置しないと間に合わないので審議していただきたいとの提案があった。

委員会の名称を対応委員会とし、対応委員会に特別委員会から報告書が提出でた時点で起ち上げる。対応委員会での報告書に基づき幹事会で審議する。委員に幹事会で選出することが提案された。

審議の結果、委員会の名称を「対応委員会」とし、幹事会で委員を選出することが承認された。

対応委員会の委員は、幹事会から大久保幹事、坂口幹事、柴橋幹事の 3 名とし、幹事会以外から藤原支部長、服部支部長、大石支部長、力石支部長の中から 2 名に依頼することになった。

また、対応委員会は小泉氏と面談をして報告書の内容を確認しもらい、対応委員会の答申を幹事会で検討することになった。

（２）その他

特になし。

以上